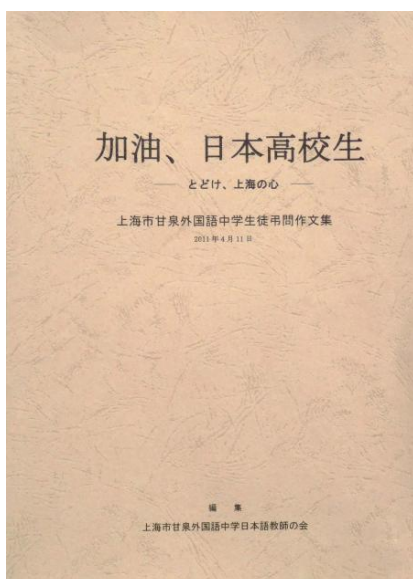


日本の高校生 加油（がんばれ）！

5月24日（火）の朝日新聞の社会面で、中国・上海市で日本語を学ぶ生徒たちが、東日本大震災で被災した高校生に向けたメッセージを日本語でまとめた文集「加油（頑張れ）、日本高校生 —とどけ、上海の心—」を作成し、日本大使館や交流のある日本の高校などに届けたことについて紹介されました。

昨年度、本校で1年間、長期留学生として学んだ 上海甘泉（カンチュワン）外国語中学の高校2年生 陶 嘉昊（タオ ジャーハオ）君もこの文集作成に参加しました。震災後すぐに日本のお母さん（ホストファミリーとしてお世話になった名田さん）にメールで安全確認したこと、本校での地震に対する避難訓練の経験やインターネットの掲示板で応援メッセージを書き込んだことなどを記しています。

ジャーハオ君は、この8月に本校及び豊中市立青少年自然の家わっぱるなど能勢町内で開催を予定している「ユネスコスクール 学びの交流会」に参加するため、再来日する予定です。



「加油（頑張れ）、日本高校生
—とどけ、上海の心—」
本校にも届けられました

タオ ジャーハオ君